

Reflection Desktop 評価ガイド



Micro Focus[®]
Reflection[®]

端末エミュレーションが必要で、 Extra! がお気に入りの方...

...Reflection はお客様のご期待に応えます!

Extral® から Reflection® へのアップグレードは驚くほど簡単です。Reflection を初めて起動してみると、既存のマクロ、キーボードの割り当て、およびセッションファイルは期待したとおりに動作します。また、以前のバージョンの Reflection、PComm または Rumba エミュレーションソフトウェアをお使いであった場合、それらのセッションおよびマクロも問題なく機能します。Reflection には、高度な生産性や安全なマルチホスト接続などの信頼できる機能があります。

Reflection は、10 年前にあなたが使っていたオペレーティングシステム用に設計されたアプリケーションとは違い、企業に関する Windows ロゴを獲得しており、デスクトップと Microsoft Office アプリケーションをユニークに統合したエミュレータ機能が使用できるようになっています。

Windows 統合によりさまざまなセキュリティ機能が組み込まれて提供されます。これらの機能は、拡大し続ける社内外のセキュリティ要件を満たすことを目的としています。Windows のユーザアカウント制御 (UAC) と統合して、ユーザによる管理機能へのアクセスに対する制御を最大限に高め、デスクトップの脆弱性を最小限に抑えます。Reflection の [信頼できる場所] 機能は、指定した信頼できる場所からのみユーザがドキュメントのファイルを開けるようにすることで、セキュリティ違反を防ぎます。

Reflection は、米国連邦政府の厳正な FIPS 140-2 標準に合格した、長年の実績ある暗号化モジュールを提供することで、送信前、送信中、送信後のデータのセキュリティを保護します。ホストおよびゲートウェイへの安全なアクセスを実現するほか、ホスト、ゲートウェイ、およびクライアントの信頼性確認用の追加ツールを提供します。また、PCI (Payment Card Industry) 監査や SOX (Sarbanes-Oxley)、HIPAA (Health Insurance Portability and Accountability Act)、HITECH (The Health Information Technology for Economic and Clinical Act)、FISMA (Federal Information Security Management Act)、Basel II、データ保護に関する新しい規制などへの準拠に対応します。

他社の端末エミュレータのセキュリティはサードパーティのパートナー経由で提供されることがあり、対応している認証レベルが低いのが一般的です。Reflection はエミュレータを統合し、セキュリティの開発やテスト、サポートおよびサービスチームを担当する Micro Focus 専門チームの支援を受ける単一のベンダーソリューションをお客様に提供します。

Reflection は、Microsoft Office アプリケーションとシームレスに統合して、一貫したユーザエクスペリエンスを提供します。また、Extra! で使用していた生産性機能がかつてないほど強化されています。PComm、HostExplorer ソフトウェア、またはその他のエミュレータを使用してきたユーザにとって、これらのツールによる効率性の向上は驚くべきものとなるでしょう。

Reflection を使用すると、以下のことが可能になります。

- 電子メールのメッセージや Word 文書を開いて、メッセージや文書の中に現在のホスト画面を自動で取り込むことができます。
- PowerPoint のプレゼンテーションに画面ショットを貼り付け、ホストアプリケーション用のトレーニングデッキやマニュアルを作成できます。
- 情報プライバシーフィルタを構成して、機密データ (アカウントや個人の ID 番号など) がオンライン表示されるのを防ぎます。
- キー入力の手間と時間を節約するためにオートコンプリート機能や自動拡張機能を利用したり、エラーを減らすために内蔵のスペルチェック機能を使用したりできます。

Reflection は、単なるダム端末のエミュレーションではなく、強力で、生産性および安全性に優れた、使いやすいエミュレーションセッションを可能にします。

Reflection のワークスペースから、メインフレーム、AS/400 (IBM System i)、UNIX/Linux、または OpenVMS の各ホストに接続でき、セッションを必要な数だけ開くことができます。各セッションはタブ付の専用ウィンドウ内に表示されるので、すばやく簡単にセッション間を移動できます。セッションドキュメントには、効率性を向上するためにカスタマイズできるマウスボタンの割り当て、キーボードの割り当て、テーマファイル、ホットスポットファイル、およびリボンへのポイントが含まれます。

また、ワークスペース内で Web アプリケーションを開くこともできます。例えば、顧客データベースからコピーした住所をお使いのオンライン地図アプリケーションに貼り付け、客先への道順を調べるこ

ともできます。あるいは、Reflection .NET API を使って、上記の操作を自動的に行うカスタムアプリケーションを作成することも可能です。好みに合わせてセッションを構成したら、それらのセッションをワンクリックで開けるようにレイアウトファイルとして保存できます。

Reflection の高度な機能は、WindowsXP、Windows Remote Desktop Services、Citrix XenApp プラットフォームや、その他の仮想化プラットフォームをはじめとする既存の IT インフラストラクチャに対応しているので、すぐに活用することが可能です。

まだ Reflection ソフトウェアをお持ちでない方は、www.microfocus.com/products/reflection/desktop にアクセスし、本製品の評価申請フォームに記入してください。Reflection のダウンロードおよびインストール方法が記載されたメールメッセージが送信されます。

ソフトウェアをインストールしたら、まず新しいユーザインタフェースを見てみましょう。

Reflection の起動

[スタート] メニューから [Micro Focus Reflection] - [Reflection ワークスペース] を選択し、Reflection を開きます。

ワークスペースが開き、[ドキュメントの新規作成] ダイアログボックスが表示されます。いったんウィンドウを閉じ、まずは Reflection のユーザインタフェースに慣れましょう。

クイックアクセスツールバーの使用

クイックアクセスツールバーを使うと、よく使用するタスクにワンクリックでアクセスできます。



クイックアクセスツールバーは、ワークスペース上部にあります。

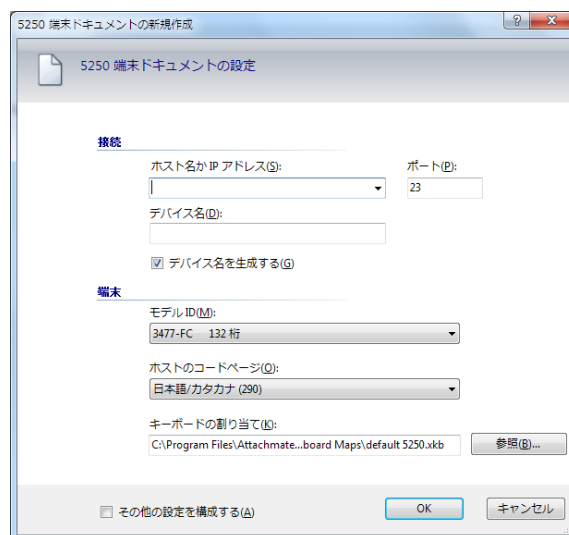
それぞれのボタンにマウスをポイントすると、機能説明のツールチップが表示されます。

よく使用するタスクにすぐにアクセスできるように、このツールバーにコマンドを追加できます。追加方法は、 または をクリックして、[操作] リスト内の操作を選択するだけです。

セッションへの接続

端末セッションを作成するには、以下の手順に従います。

1. [クイックアクセス] ツールバーから [新規ドキュメント] ボタン をクリックします。
2. 設定するセッションの種類を選択して、[作成] をクリックします。



[5250 端末ドキュメントの新規作成] ダイアログボックス

3. [ホスト名か IP アドレス] フィールドに入力し、[OK] をクリックします。セッションがワークスペース内に開きます。

作成したセッションドキュメントを保存するには、Reflection の [ファイル] メニューから [名前を付けて保存] を選択して、セッションの名前を入力します。入力したホスト情報は、ファイルに保存されます。

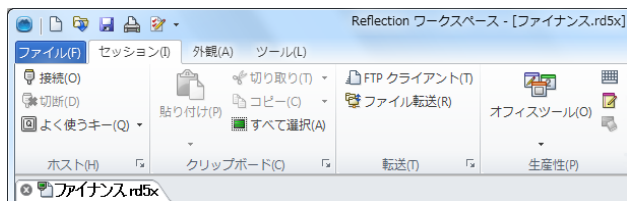
ユーザーエクスペリエンスオプション

Reflection ではユーザインタフェースモードを以下の複数から選択できます。[リボン]、[ブラウザ]、[クラシック]、[クラシック MIDI]、または [TouchUx] です。

リボン

[リボン] モードでは、最新式の Microsoft Windows および Office 製品のルックアンドフィールを共有します。リボンの拡張可能なグラフィカルインタフェースから、Reflection の機能と設定にアクセスします。

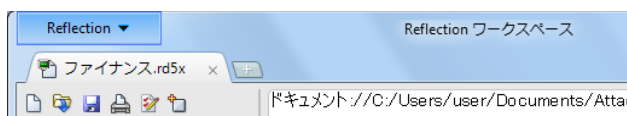
既定では、Reflection は [リボン] で開きます。



リボンのユーザインタフェースモード

ブラウザ

[ブラウザ] モードは、最新の Web ブラウザの多くのインタフェースのように、ミニマリストアプローチを採用しています。Reflection の [ブラウザ] モードでは、[Reflection] メニューから機能と設定にアクセスします。



ブラウザのユーザインタフェースモード

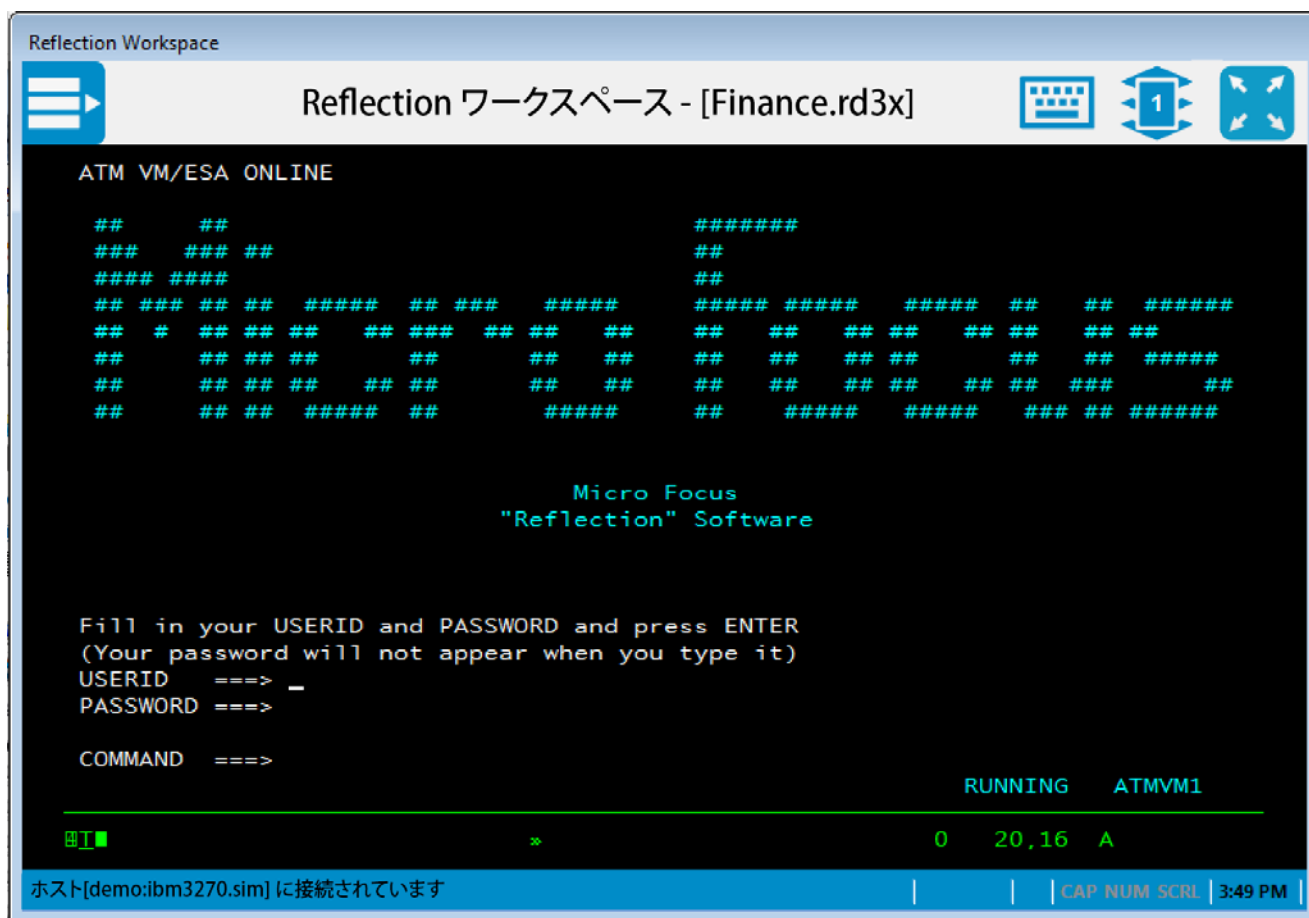
クラシック

[クラシック] モードは従来のメニューおよびツールバーで、Windows XP のアプリケーションの標準インタフェースに類似しています。Extra! と Reflection の「スキン」が提供されます。[クラシック] モードでは、各セッションドキュメントはそれぞれ別のウィンドウで開きます。クラシック MIDI モードは、同じウィンドウで開くセッションドキュメントが開くことを除き、クラシックモードと似ています。

TouchUx

TouchUX モードは、iOS、Android、および Windows のタッチ式ネイティブアプリケーションとの整合性があり、モバイルデバイスでエミュレーションを存分に利用できます。

あらゆるエンタープライズホストアプリケーションを、デスクトップと同じレベルの機能、使い勝手、およびアクセスで操作できます。完全なキーボード機能も搭載しており、データ入力には小さい画面サイズ向けに最適化されています。




TouchUx のユーザインタフェースモードは、ホストアプリケーションで最新式のタブレット (タッチ式) のユーザエクスペリエンスを提供する

Reflection は、Windows タブレットデバイス上でネイティブに使用できます。また、Citrix XenApp 環境で実行すれば、Android または iPad デバイス上でも使用できます。

インタフェースを切り替えるには、次を実行します。

1. Reflection で [ファイル] - [Reflection ワークスペースの設定] コマンドを選択します。
2. [ワークスペースの設定] の下の [ユーザインタフェースの構成] をクリックします。[ユーザインタフェースモード] リストから別のモードを選択して [OK] をクリックします。
3. [Reflection ワークスペース] を閉じ、次に再度開いて、変更を確認します。

クラシックモードまたは TouchUx モードを試してみただけの場合でも、再びリボンモードまたはブラウザモードに切り替えて評価を続けることができます。

Reflection は全画面表示で実行できます。ワークスペース下部の右隅にある画面アイコン  をクリッ

クして、全画面表示と通常表示を切り替えられます。[リボン] で全画面表示に切り替えると、リボンが最小化されます。リボンを元のサイズに戻すには、リボンタブをクリックします。

レイアウト

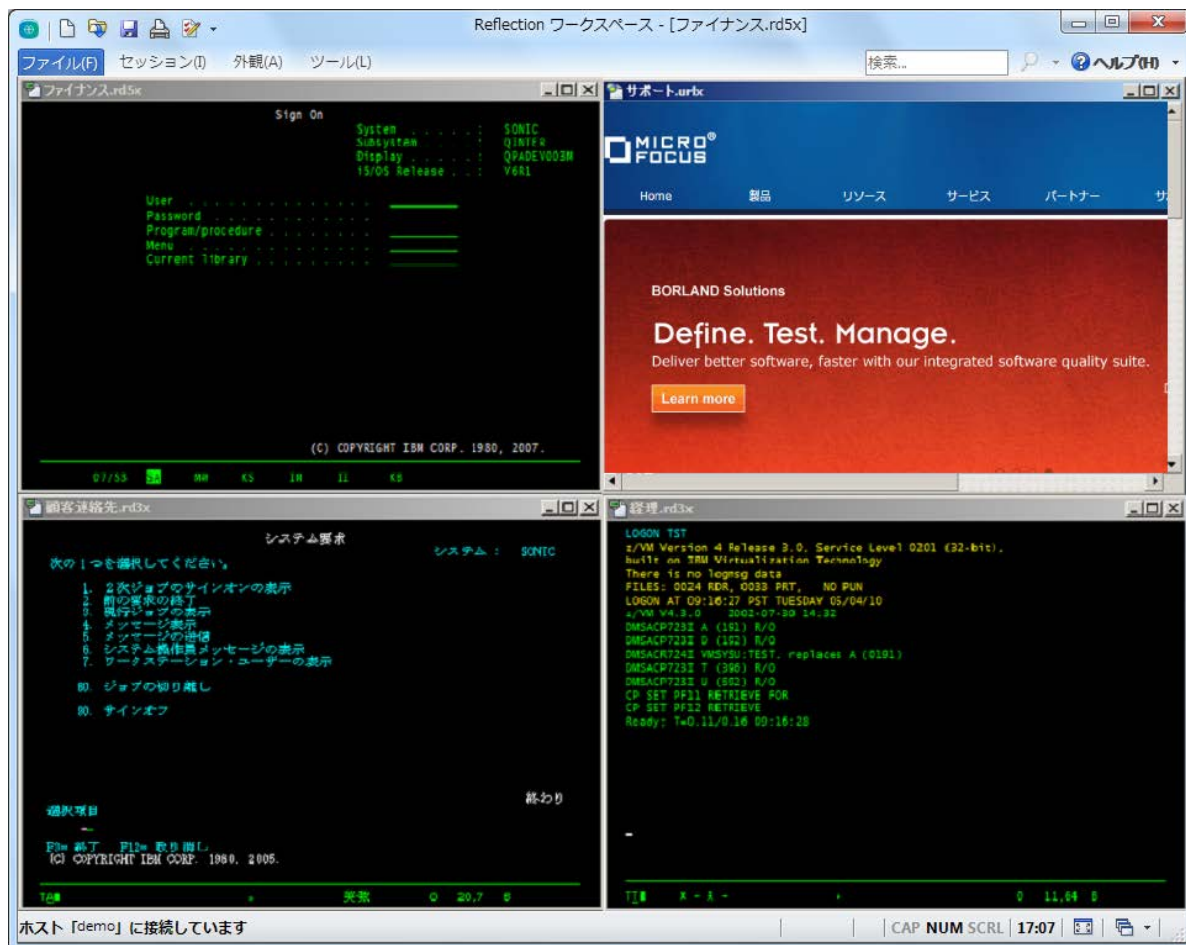
いつも複数のセッションを同時に開いて作業しているという場合は、すべてのセッションを Web ページとともにレイアウトとして保存することができます。

レイアウトを作成するには

- Reflection の [ファイル] メニューで、[レイアウトの保存] を選択します。

レイアウトを開くと、Reflection ではそのレイアウトを保存した時に開いていたドキュメントがすべて開きます。また構成済みのセッションに接続され、保存時と同じサイズと位置にワークスペースが復元されます。

端末セッションと Web ページは、お使いのコンピュータのリソースが対応できる数だけ開くことがで




並べて表示されているウィンドウ内の各セッション

きます。それぞれの Web ページは、ワークスペース内の専用タブの中に開きます。セッションを左右に並べて表示したい場合は、セッションドキュメントをタブではなくウィンドウに表示します。

統合 Web セッション

Reflection には統合 Web ブラウザがあり、ワークスペース内に Web ページを開くことができます。

ワークスペース内に Web ページを追加するには、以下の手順に従います。

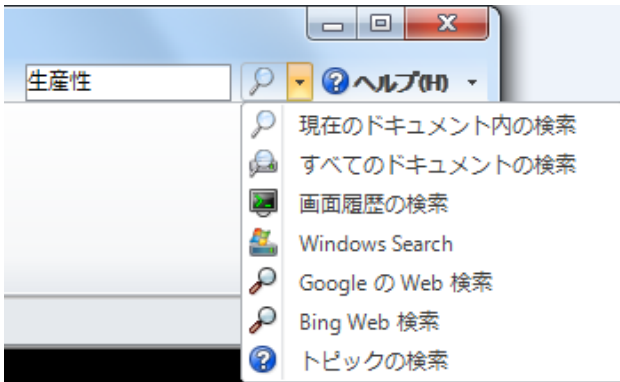
1. [クイックアクセス] ツールバーから [新規ドキュメント] ボタン  をクリックします。
2. [ドキュメントの新規作成] ダイアログボックスで、[Web] を選択して [作成] をクリックします。

[URL] ボックスに、MapQuest や Google マップなど、お使いのオンライン地図アプリケーションの URL を入力して [OK] をクリックします。

その Web アプリケーションが、ワークスペース内の専用タブの中に開きます。

[検索]

文字列検索機能は、現在使われているのアプリケーションの多くに備わっている標準的な機能です。Reflection はその標準を上回り、デスクトップ、Google、および開いているすべてのセッションドキュメントの画面履歴を検索できます。



検索範囲を選択するには、ワークスペースの右上隅にある [検索] ボックスに検索文字列を入力し、虫メガネのアイコンの隣にある下向き矢印をクリックします。

また、現在のドキュメントが、ホストセッションやセッション、設定ページまたは Web ページであっても、もちろん検索することができます。

Windows との統合

Reflection は、Compatible with Windows 7 ロゴ、および Compatible with Windows 8 ロゴを取得しており、Windows 10 に備わるセキュリティと生産性の強化機能が活用されるように最適化されています。



例として、Reflection アクセス許可マネージャと Windows のユーザアカウント制御の統合があります。ユーザが Reflection で実行できる操作を、細かく指定できるようになっています。

Reflection に実装されているリボン UI は、強力で効率が高くカスタマイズ可能なユーザエクスペリエンスを提供し、お客様の業務の要求に応えます。

例えば、ホストアプリケーションの情報をコピーして別のホストのアプリケーションに貼り付ける必要があるとします。この操作を自動化することにより、キー入力の手間と時間を節約できます。

ご自分で試していただくために、ホストセッションを 2 つ開いてから、以下の手順に従ってマクロを収録してください。

マクロの収録

1. ホストアプリケーションにログインします。
2. リボンの [ツール] タブで [マクロの収録] ボタン  をクリックして、収録を開始します(このボタンが表示されていない場合は、ウィンドウを拡大します)。
3. コピー元のセッションで、コピーするデータを含む画面に移動します。
4. データを選択し、右クリックして [コピー] を選択します。
5. データのコピー先のセッションで、データを貼り付ける画面に移動します。
6. カーソルを合わせ、右クリックして [貼り付け] を選択します。
7. [収録の終了]  をクリックします。
8. 収録完了ダイアログボックスで、[共通プロジェクトに保存] を選択します。
9. マクロに名前を付けて [OK] をクリックします。

マクロの実行

1. マクロを作成したホストアプリケーションにログインします。
2. [セッション] タブの [マクロ] グループで [マクロの実行] をクリックします。

3. [マクロ実行] ダイアログボックスで [Reflection ワークスペースマクロ] を選択します。
4. [マクロ] ダイアログボックスから、[共通] を選択します。それからそのマクロを選択して [実行] をクリックします。

このタスクが頻繁に実行されると考えられる場合は、内蔵の UI デザイナーユーティリティを使って、新しいマクロとしてボタンをリボンに追加することができます。

リボンへのボタンの追加

1. ワークスペースで、マクロを実行するセッションのタブをクリックします。
2. リボンの [外観] タブで [UI デザイナ] をクリックします。
3. リボンのイメージの中から [マクロ] グループを選択します。



4. 以下の [コントロールの挿入] 画面で [ボタン] をクリックします。

[マクロ] グループに新しいボタンが追加されます。



5. [設定] 画面で [操作の選択] をクリックします。
6. [操作] リストから、[Reflection ワークスペースマクロの実行] を選択します。
7. [アクションパラメータ] の下で、[マクロの選択] をクリックしてから、共通 VBA プロジェクトを選択します。
8. ボタンと関連付けるマクロを選択してから OK をクリックします。
9. UI デザイナーの [設定] 画面で、[「Reflection ワークスペースマクロの実行」の設定を変更する] を選択します。
10. ラベルを変更し、ツールチップを追加します。

11. 終了したら、[OK] をクリックします。

リボンの [セッション] タブに新しいボタンが表示されます。

ホストセキュリティの強化

顧客の機密データを取り扱う際には、複数のレベルで対応できるセキュリティが必要になります。

米国連邦政府は Micro Focus の大口顧客ですが、製品のセキュリティ機能に対して最高レベルの要求をしています。例えば、強力なデータ暗号化に対する FIPS 140-2 や、強力な証明書ベースの 2 要素認証に対する国防総省 PKI、FDCC/USGCB (Federal Desktop Core Configuration/United States Government Configuration Baseline、Reflection がセキュリティ保護されたデスクトップ構成に対応できることを証明するもの) などがあります。

Reflection の高レベルのセキュリティは、PCI 監査、SOX (Sarbanes-Oxley)、HIPAA、HITECH、および Basel II によって推進される非政府系要件や業界規制への準拠を支援します。

ミッションクリティカルなホストデータの保護

Reflection には、顧客データを保護し、デスクトップのセキュリティを確保するための情報プライバシー機能が用意されています。

プライバシーフィルタの設定

プライバシーフィルタを使用すると、暗証番号のような大切なホストデータを保護し、そのデータが出力されたり、保存されたり、コピーされたりするのを防ぐことができます。

顧客の電話番号を保護する場合をみてみましょう。Reflection を使えば、簡単に実行できます。

1. リボンで [ファイル] - [Reflection ワークスペースの設定] コマンドを選択します。([ブラウザ] モードでは、[Reflection] メニューから、[設定] - [Reflection ワークスペースの設定] (Reflection Workspace Settings) コマンドを選択します。)
2. [Reflection ワークスペースの設定] (Reflection Workspace Settings) で、[情報プライバシーの設定] をクリックします。
3. [プライバシーフィルタ] で [追加] をクリックします。
4. [プライバシーフィルター追加] で、説明を入力し、[単純表現] を選択してから、ボックスに #

記号を入力して、保護するデータ桁数を表示します。例えば、次のように入力します。

###-###-####

これらの番号は、ホストシステムでの表示に使われている形式で入力してください。入力された電話番号にハイフンが使われていたり、いなかったりする場合は、ハイフンなしの別のフィルタが2つ必要です例えば、次のように入力します。

#####

5. [プライバシーフィルタ 特別編集ルール] で、データの特別編集方法を指定します。
 - [スクラッチパッド] や [最近の入力履歴] などの生産性機能によって機密データが表示されないように特別編集するには、[特別編集の有効化 (エクスポートされたデータのみ)] を選択します。
 - 画面のデータを特別編集するには、[表示データを特別編集する (サポート対象端末: IBM)] を選択します。
6. [OK] をクリックして、変更を保存します。
7. データが特別編集されることを検証するために、電話番号データを表示するホストアプリケーションに接続します。

クレジットカードデータの保護

組織が PCI DSS (Payment Card Industry Data Security Standard) の要件を満たすように、Reflection は、IBM のホスト画面で入力または保存されているクレジットカードまたはデビットカードのデータを自動的に保護することもできます。クレジットカードデータを保護する場合をみてみましょう。

1. リボンで [ファイル] - [Reflection ワークスペースの設定] コマンドを選択します。([ブラウザ] モードでは、[Reflection] メニューから、[設定] - [Reflection ワークスペースの設定] (Reflection Workspace Settings) コマンドを選択します。)
2. [Reflection ワークスペースの設定] (Reflection Workspace Settings) で、[情報プライバシーの設定] をクリックします。
3. [プライマリアカウント番号 (PAN) 検出ルール] - [シンプルな PAN 検出] コマンドを選択します。
4. [プライマリアカウント番号 (PAN) 特別編集ルール] で、[特別編集を有効にする (エクスポート済みデータのみ)] - [表示データを特別編集する (サ

ポート対象端末: IBM)] - [入力中にデータを特別編集する (サポート対象端末: IBM)] を選択します。

5. [OK] をクリックして、変更を保存します。
6. クレジットカード番号を入力するのに十分な長さのある入力フィールドを含むホストアプリケーションに接続します。
7. 財布からクレジットカードを取り出して、入力フィールドに番号を入力します。最後の数字を入力する時に、最後の4桁以外のすべてのクレジットカード番号が特別編集されることに注意してください。

安全なファイル転送

Telnet や FTP のような従来のプロトコルは、本質的に安全ではありません。これらのプロトコルでは、機密のホストデータがリスクにさらされます。

Reflection は、お客様のニーズに合わせて、そのようなリスクの管理を支援し、既存のセキュリティインフラストラクチャ、ユーザレベルのセキュリティ機能、および今日の厳格なセキュリティ要件を満たす暗号化技術に包括的に対応します。幅広いホストへの対応に併せて、このレベルのセキュリティを提供できるのは、競合他社の製品にはありません。

ユーザ生産性の向上


エンドユーザの生産性の向上は、お客様のビジネス目標を達成するのに不可欠です。オートコンプリート、自動拡張、スペルチェック、スクラッチパッド、最近の入力履歴、画面履歴などの機能を使うと、暗号化された従来のホストアプリケーションを最新の Office アプリケーションのように動作させることができるため、日々の業務の中で多数のキー入力の手間を省き、呼び出し回数を減らす一方で、顧客満足度を高めます。

これらの機能が、システムに入力されるデータの品質を向上させるということも重要です。これらのツールすべてを備えたエミュレータはほかにありません。

Reflection は現行バージョンおよび旧バージョンの Office アプリケーションと統合されているため、ボタンをクリックするだけで、ホスト画面から Word 文書やメールメッセージ、PowerPoint スライドにデータをコピーできます。

ホスト画面のメール送信

営業担当者が、顧客アカウントの詳細な情報を必要としていると想定しましょう。データを送信することは以下の手順 (1-2-3) のとおり簡単です。

1. 目的の画面に移動して、[セッション] リボンの [オフィスツール] ボタン  をクリックします (またはブラウザモードでは、[Reflection] メニューから [表示] - [オフィスツール] コマンドを選択します)。

[オフィスツール] 画面が開きます。


2. [オフィスツール] 画面の [新規作成] の下にある [メールメッセージ] をクリックします。

Reflection から Outlook の新規メールメッセージが開きます。ここには現在の画面の内容が貼り付けられています。画面に口座番号や電話番号がある場合は、メールに貼り付けられた画像を確認してみてください。プライバシーフィルタを設定してあるため、機密情報はメールメッセージの画面イメージ内では隠されています。

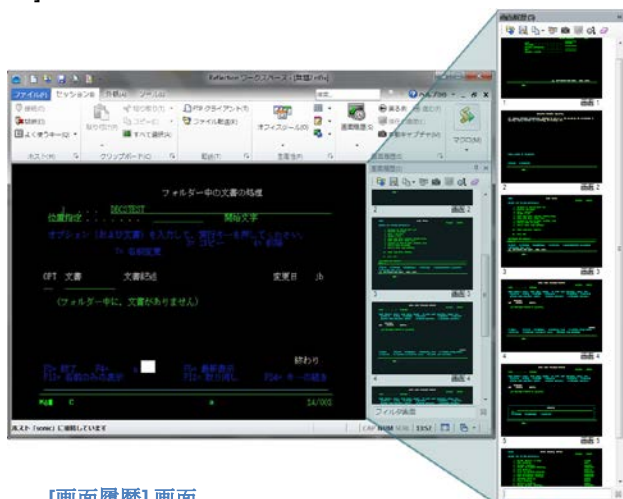
3. 電子メールの送信先と題名の行を入力し、[送信] をクリックします。

ホスト画面のすばやい検索

Reflection の画面履歴機能を使えば、以前の画面に実際に戻らなくても、ホスト画面を確認して、それらの画面を Office アプリケーションで使うことができます。

リボンの [セッション] タブにある [画面履歴] ボタン  をクリックして、画面履歴を表示します (ブラウザモードでは、[Reflection] メニューから、[表示] - [画面履歴] コマンドを選択します)。

ホスト画面を 4 ~ 5 種類表示させてから、[画面履歴] 画面内でのそれらの外観を確認してください。



[画面履歴] 画面


ここで、宅配業者から電話があり、客先への道順を確認したいと言われた場合を想定します。ワークスペースで Web セッションを開いているオンラインマップアプリケーションに顧客の住所を入力する必要があります。

その顧客データの画面は、以前にも表示したことがあります。前の画面に実際に戻らなくても、次の 2 つのいずれかの方法で [画面履歴] を使えば、その画面を表示してクーリエに必要な情報を教えることができます。

1. いくつかの画面を確認するだけの場合は、[画面履歴] 画面をスクロールし、該当する顧客データ画面をクリックして、メインセッションウィンドウに表示します。

または

多数の画面を確認する場合や、必要なデータが小さくて読みにくい場合は、以下の手順を実行します。

- a. リボンの上にある [検索] ボックスに顧客の名前を入力します。
- b. [検索] ボタン  の下向き矢印をクリックして、[画面履歴検索] を選択します。

検索結果は端末ウィンドウの下に表示されるので、必要なデータがある画面にすばやく移動できます。

2. 顧客の住所までの道順を確認するには、住所をコピーしてから、オンライン地図アプリケーションのタブをクリックして、目的地住所のフィールドにその住所を貼り付けます。

このような問い合わせにも簡単に対応できます。

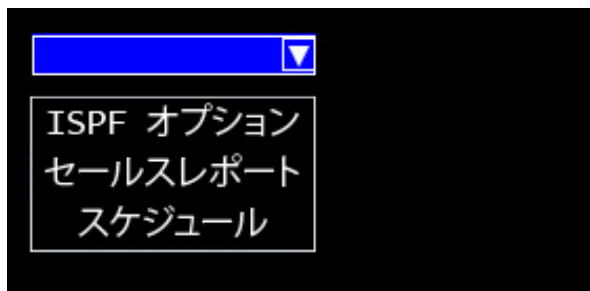
Reflection の生産性機能は、データ入力とホスト移動を迅速化し、ユーザの効率性を高めるとともに、データ入力のエラーを減らします。

ホスト画面の最新化

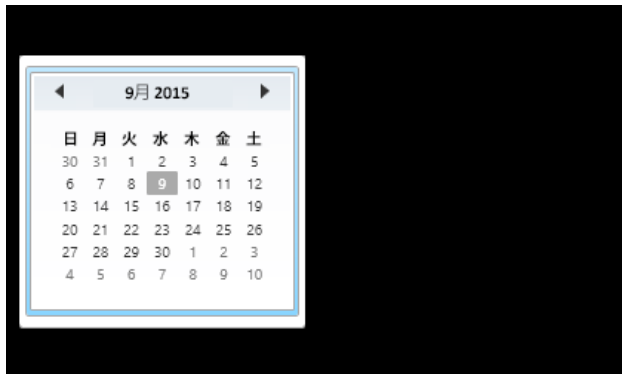
Micro Focus Plus Screen Designer を使用すれば、従来のホストアプリケーションを最新のアプリケーション機能で最新化できます。

Screen Designer を使用することで、従来の IBM ホストアプリケーションに、最新の UI 要素 (ドロップダウンリスト、ボタン、日付ピッカーなど) を簡単に追加できます。

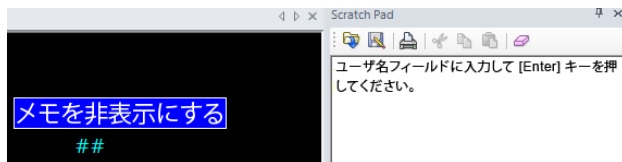
ドロップダウンリストは、旧式の番号の付いたオプションリストを最新式のドロップダウン選択リストに置き換えます。



カレンダーは、手動の日付入力をグラフィカルなカレンダーによる日付ピッカーに置き換えます。



ホスト画面に新しいボタンを追加して、マクロの起動やその他の操作を実行するようにボタンを設定できます。



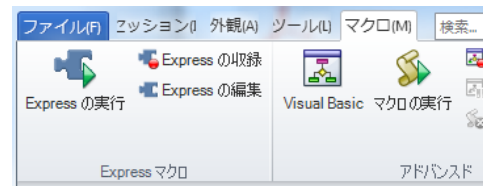
アマチュアプログラマーに朗報

Reflection には、VBA、HLLAPI、DotNet/C# というビジネスプロセスを自動化するための多くの先進のツールが付属しています。残念なことに、多くのプログラマーでない人たちは、自動化により効率性を高めることができませんでした。

しかし今では違います。Reflection がサポートする自動化プラットフォームに、ビジネスユーザーが待ち望んでいた Express Macro Language (EML) が追加されました。

EML は、プログラマーでない人たちが IBM ホストでよくあるタスクを自動化するために、すばやくスクリプトを記録でき、またさらにカスタマイズするための高レベルのドラッグ&ドロップツールも用意しています。

さらに、EML オートメーションは幅広い Micro Focus 製品全体で使用できるため、投資の価値を保護できます。



Express Macro Language (EML) は、オートメーションファミリーの最新メンバーです。

IT 柔軟性の最大化

IT インフラストラクチャは、常に進化し、ますます複雑になっています。お客様の投資収益率を最大化するためにも、デスクトップアプリケーションは、その他のコスト節約型の IT 技術に対応しそれらの技術を活用する必要があります。

Reflection は、IT の複雑さに対処するために必要な柔軟性を提供します。Reflection の管理ツールを使うと、Reflection を自由にカスタマイズして、お客様の業務要件を満たす配布パッケージを作成できます。

Reflection は、Microsoft Active Directory、Microsoft Group Policy 技術、および各種の仮想化技術をはじめとする既存の IT インフラストラクチャコンポーネントからなる構成に対応しています。実際に、Reflection は、Citrix Ready ロゴを取得した最初のエミュレータです。Reflection をこれらの製品とともに使用するケースの詳細については、Micro Focus サポートサイトを参照してください。

Reflection は、ユーザ認可および認証を処理するためにお客様がお使いのセキュリティインフラストラクチャ内で機能し、Kerberos や PKI 証明書を利用した 2 要素認証 (2FA) などに対応します。

また、Reflection は、Micro Focus Host Access Management および Security Server (MSS) と一元化されています。この強力なアドオンは、既存の ID 管理や認証インフラストラクチャをホストシステムに接続して、ホストセキュリティを向上させます。

また、MSS により、Reflection 端末エミュレーションの構成を一元的に管理して、会社全体の数百、数千名ものユーザに配布できます。

現在の Micro Focus 端末エミュレーションのソリューションはすべて、IPv6 および 64 ビットコンピュータに対応しています。また、現在 Micro Focus は、企業の仮想化技術に広く対応することに重点的に取り組んでいます。

Micro Focus は約 30 年間にわたり、最新技術に対応する IT ソリューションを開発してきました。進化を続けるお客様のビジネスのために、Micro Focus はお客様の IT 投資を最大化し、IT 組織の柔軟性を可能な限り実現するソリューションの構築に全力を尽くします。Micro Focus は新旧技術の橋渡し役となり、お客さまが最新の業界イノベーション活用でき、そして以前の投資を活用できるようにします。

移行および対応の簡略化

デスクトップアプリケーション間の移行は簡単な作業ではありません。これらの移行には、多大な時間とリソースを要することがあります。

複数のエミュレーション製品を使用しているということは、貴重な IT リソースの浪費を継続的に引き起こすことにもなります。問題は、長年にわたって作成してきたカスタムマクロ、キーボードの割り当て、および設定ファイルを失わずに、また、ユーザの日

常業務を中断せずに、いかにして単一ソリューションに統合するかを決定することにあります。このソリューションこそ Reflection なのです。Micro Focus の実績あるツールおよびサービスを使えば、Reflection の単一エミュレーションソリューションを標準化できます。

Reflection に内蔵されている互換性ツールは、強力なマクロ、キーボードの割り当て、および設定ファイルを実行することで、業務中断のリスクを最小限に抑えます。

Reflection は、どの競合他社の端末エミュレーション製品よりも深いレベルで Windows 7、Windows 8 および Windows 10 に対応しています。また、広範なセキュリティオプションと独自のユーザ生産性ツールを備え、従来および未来の技術に幅広く対応しています。

Reflection をエミュレーションのユーザに提供することによって、強力な機能、強固なセキュリティ、Windows 統合という、他にはない機能を活用できるようになります。重要な点は、お客様の準備さえ整えば、Reflection はいつでも Windows 7、Windows 8 および Windows 10 に対応可能だということです。



705 Fifth Avenue South

Seattle, WA 98104

新宿アイランド・ウィング 13 階

Tel: +1.206.217.7100

+1.800.872.2829

その他の事業所、パートナー、リセラーについては当社の Web サイト (www.microfocus.com) を参照してください。

Reflection の詳細

Reflection の詳細については、製品のオンラインヘルプをご覧ください。ソフトウェアの評価版や製品の更新の詳細については、サポート&サービスサイト (www.microfocus.com/support-and-services/) を参照してください。

本書は情報提供のみを目的としており、将来予告なしに変更されることがあります。本書のいかなる部分も、形式、方法にかかわらず、Micro Focus の書面による許可なく複製、送信、転記、および他の言語への翻訳を行うことはできません。

Copyright © 2017 Attachmate Corporation, a Micro Focus company. All Rights Reserved. Micro Focus、Micro Focus のシンボル、Extra!、Extra! Reflection は、米国の Micro Focus の登録商標です。本契約書で引用しているその他のすべての商標、商標名、または会社名は、識別の目的でのみ使用されており、その所有権はそれぞれの所有者に帰属します。